

露地・雨除けサクラノボ特報 No.8

JA 中野市営農センター
JA 中野市サクラノボ部会

梅雨明け後は、高温干ばつが心配されます。灌水は必ず実施しましょう。今後の管理については、園内を再度見回り樹冠の明るさを確保、夏季剪定や秋の誘引等を実施し、次年度へ向けての花芽と樹体の充実を図りましょう。

薬剤散布 ハダニ類を効率的に防除するため、散布3～5日前に下草刈りを行なう。

隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい。

散布時期：7月末～8月上旬（前回の散布から 14 日後）

(水 100ℓ 当り)		散布日	月	日	散布量	ℓ
展着剤	20ml					
トレノックスフロアブル	200ml（収穫 21 日前、5 回）					
カネマイトフロアブル	100ml（収穫 7 日前、1 回）					
サムコルフロアブル 10	40ml（収穫 前日、3 回）					

*対象病害虫：ハダニ類、褐色せん孔病、ケムシ類、ハマキムシ類、（アメリカシロヒトリ）

*散布量：10a 当り 600ℓ 以上

○今回の防除後もハダニ類が発生する場合は、スターマイトフロアブルの 2,000 倍（前日、1 回）、またはマイトコーネフロアブルの 1,000 倍（14 日前、1 回）を特別散布する。

○トレノックスフロアブルに代えてオキシラン水和剤 600 倍（収穫終了後～落葉期、3 回）でもよい

○カイガラムシ類の発生園は、8月下旬にアプロードフロアブルの 1,000 倍（7 日前、2 回）を特別散布する。

◎管理作業

- 1) 定期的に灌水を実施する。次年度の双子果防止及び花芽充実のため。
- 2) 園内の除草は、必ず定期的に実施する。害虫の巣とならないように。
- 3) 主幹の支柱立て・雨除けハウス被覆ビニールの除去、強風及び排水対策は万全に。
- 4) 誘引・・・側枝が開きやすい時期ですので誘引を実施し、側枝形成を図る。

***農薬（毒物・劇物）を購入の際には、印鑑をご持参下さい。**